

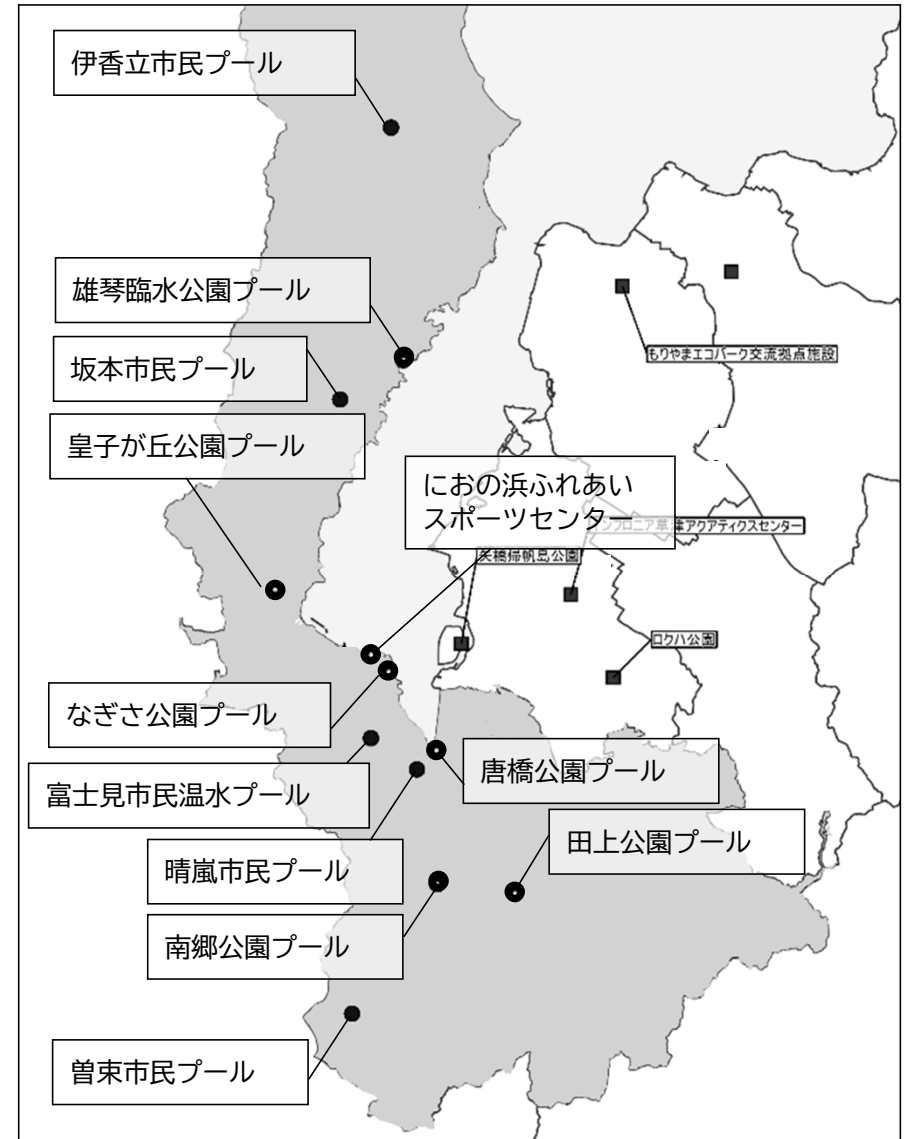
令和8年9月通常会議
施設常任委員会所管事務調査

市営プールの在り方検討について ～現状分析と今後の検討について～

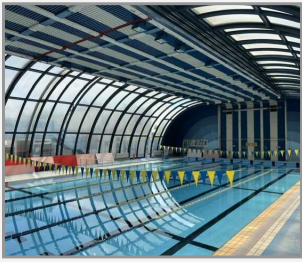
令和8年9月18日
都市計画部 公園緑地課

市営プールの現状(1)

名称	屋内	屋外	50m プール	25m プール	幼児 プール	建設 年度	経過 年数
皇子が丘公園プール	○	○	○	○	○	1980	46
におの浜ふれあい スポーツセンター	○			○		2004	22
富士見市民温水プール	○			○	○	2018	8
伊香立市民プール		○		○	○	1984	42
雄琴臨水公園プール		○		○	○	1976	50
坂本市民プール		○		○	○	1987	39
大津湖岸なぎさ公園 プール		○		○	○	1994	32
唐橋公園プール		○		○	○	1983	43
南郷公園プール		○		○	○	1982	44
田上公園プール		○		○	○	1984	42
晴嵐市民プール		○		○	○	1995	31
曾束市民プール		○		○	○	1997	29
合計	3	10	1	12	11		



市営プールの現状(2)



皇子が丘公園

屋内25mプール



伊香立市民プール

屋外25mプール



坂本市民プール

屋外25mプール



晴嵐市民プール

屋外25mプール



曾束市民プール

屋外25mプール



大津湖岸なぎさ公園

幼児プール



皇子が丘公園

プール外観



雄琴臨水公園

プール槽



田上公園

手洗場



南郷公園

外シャワー



大津湖岸なぎさ公園

プールサイド



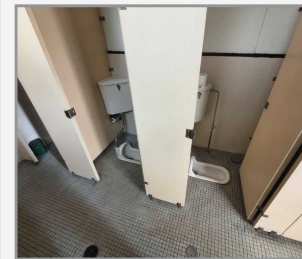
南郷公園

管理棟



田上公園

更衣室



唐橋公園

トイレ



雄琴臨水公園

機械室

市営プールの現状(3)

■屋内プールの利用料金や利用期間

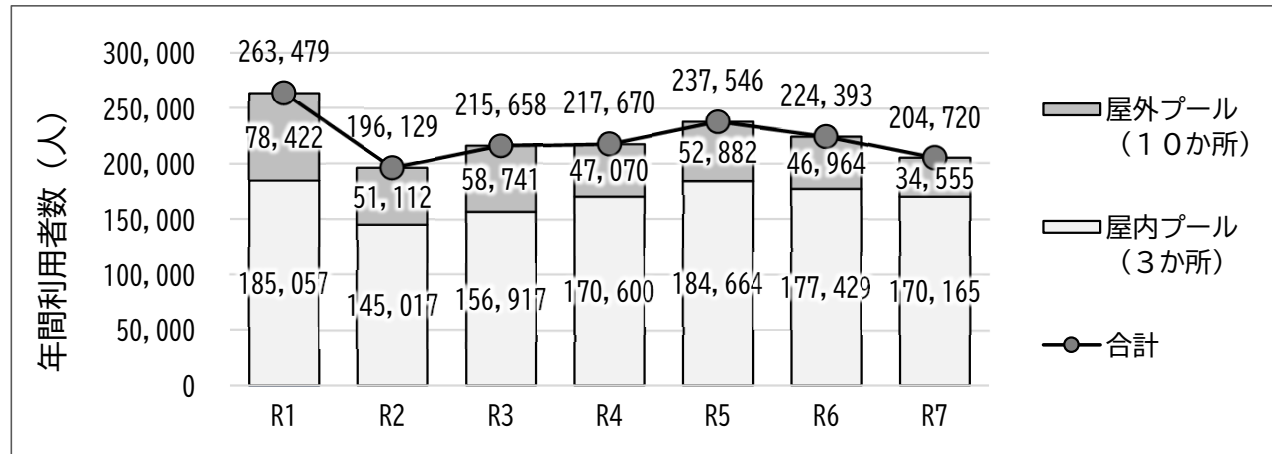
区分	利用料金		利用期間
	温水期	平水期	
大人	1回990円	1回490円	年末年始、定休日、臨時休業を除く通年営業 温水期10月～6月 平水期7月～9月 ※定休日 <u>毎週月曜日</u> 富士見市民温水プール <u>毎週火曜日</u> 皇子が丘公園プール におの浜ふれあいスポーツセンター
高校生	1回660円	1回490円	
小人（中学生以下）、 障害者、65歳以上	1回490円	1回330円	

■屋外プールの利用料金や利用期間

区分	利用料金	利用期間
大人（高校生含む）	1回490円	7月20日から8月31日までの夏季営業 ※8月以降は熱中症予防のため、基準時（午前7時、午前11時）に暑さ指数31以上の場合は利用を中止する。 令和8年度は6日間、午後の利用中止
小人（中学生以下）、障害者、 65歳以上	1回330円	

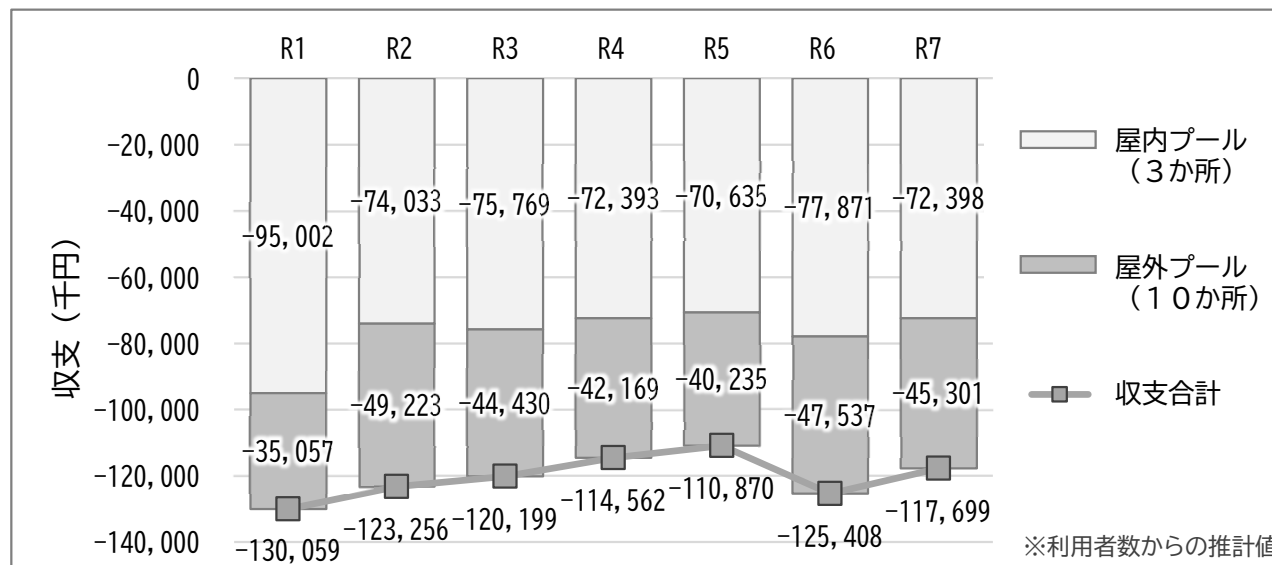
市営プールの現状(4)

■年間利用者数の推移



- 市営プールの利用者数はコロナ禍前よりも減少
- 屋内プールは令和元年度と比較して約10%減少だが、屋外プールは令和元年度と比較して50%以上減少

■収支の推移



- 令和元年度と比較して屋内プールは赤字額が減少しているが、屋外プールは赤字額が増加
- 令和4年度に利用料金の値上げを実施したが、光熱費や人件費の高騰、利用者数の減少から令和7年度は約1億2000万円の赤字

アンケート調査概要

本市の公園プール及び市民プール(以下「市営プール」という。)の今後の在り方を検討していくにあたり、他都市の状況や本市市営プールの利用状況等に関するアンケート調査を実施

調査種別	調査概要
中核市 アンケート	調査対象:61市(大津市除く) 回 答 数:46市(大津市含む) 調査内容:プール数(屋内・屋外・レジャープール) 在り方検討状況 検討結果と対応状況
市民 アンケート	対 象:市内在住の18歳以上の男女2,000人 方 法:郵送、web回答 期 間:2026年1月9日(金)～30日(金) 回 答 数:983(回答率49.2%) 調査内容:回答者の属性 市営プールの利用状況 市営プールの今後

市営プールの在り方検討に係る市民アンケートについて

《アンケート協力をお願い》

市民の皆様には、日頃より大津市の市政運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、大津市では、限られた財源を有効に活用するため、今後の市営プールの在り方を検討していくにあたり、市内にお住まいの18歳以上の方から無作為に抽出した2,000人の方を対象に市営プールの利用状況や将来的な利活用に関するアンケートを実施します。

回答は無記名方式で行い、集計は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和8年1月 大津市

《ご記入に当たってのお願い》

◎回答は、封筒のあて名ご本人が記入又は入力してください。ご本人が長期不在などで回答が困難な場合は、ご家族の方が代わりにお答えください。

◎回答に当たって、次ページの「大津市の市営プールについて」を参考にしてください。

◎回答は、**別紙のアンケート調査票**に直接ご記入ください。

◎回答の選択数を指定している設問は、指定の数に従ってください。

◎回答後は同封の返信用封筒に入れて**1月30日(金)**までに郵送願います。切手は不要です。

◎WEBでの回答も可能です。下記のURLにアクセスしていただくか、二次元バーコードを読み取り、所定のサイトに移動の上、指示に従って回答してください。

URL: https://apply.e-tumo.jp/city-otsu-u/offer/offerList_detail?tempSeq=4208



【問い合わせ先】
 大津市御陵町3番1号
 大津市 都市計画部 公園緑地課
 電話番号: 077-528-2784
 E-mail: otsu1809@city.otsu.lg.jp

中核市アンケート調査結果の概要

■プール設置数

プール設置数	大津市	中核市平均
屋内プール	3か所	2か所
屋外プール	10か所	2か所

特に本市の屋外プールは他市と比べても多い

■プールの在り方検討状況

回答数	46市
検討実施	13市
実施予定	16市

- 現在までにプールの在り方検討を実施した中核市は13市、検討予定は16市
- 検討の結果廃止されたプールは18か所

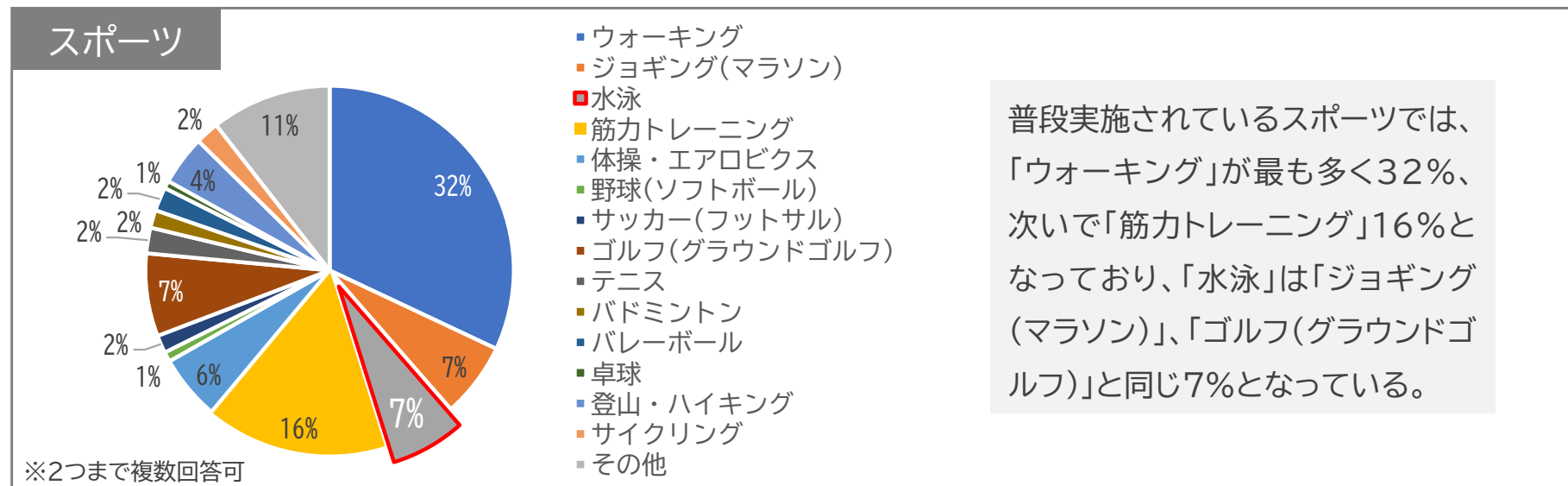
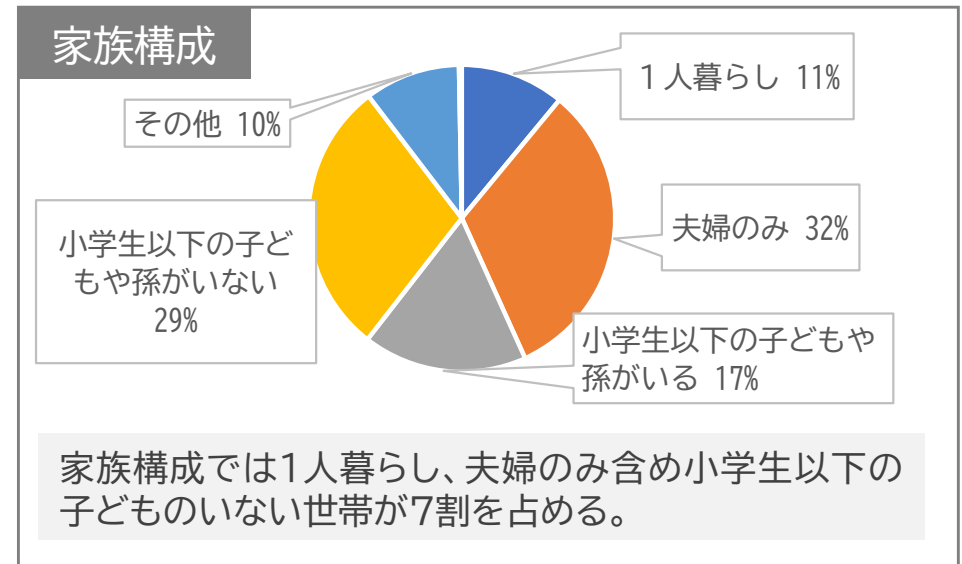
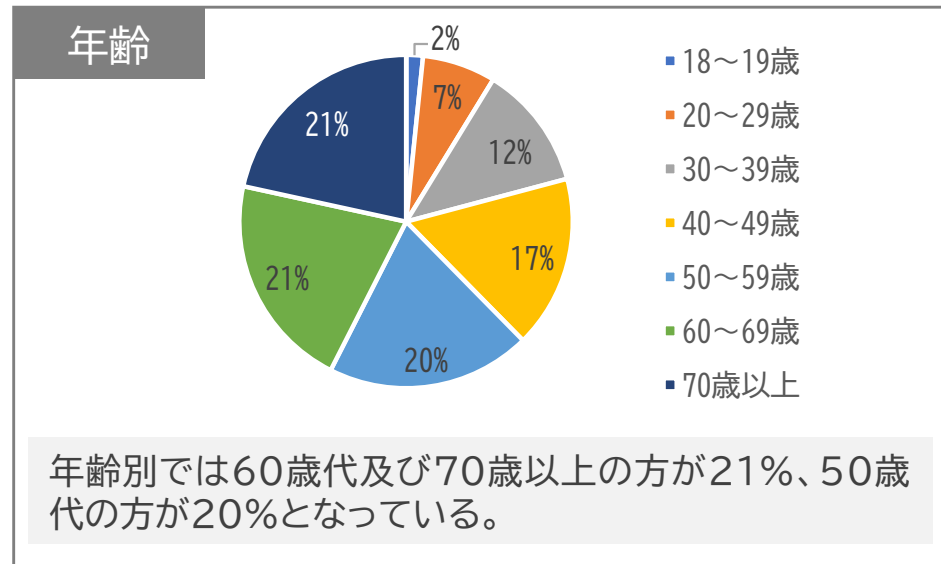
区分	施設区分	施設数(自治体数)
廃止・閉鎖	屋内プール	3 (3)
	屋外プール	15 (4)
改修	屋内プール	5 (3)
	屋外プール	1 (1)
建替え	屋内プール	1 (1)
	屋外プール	0 (0)

跡地利用の内容

保育園・こども園、解体・売却
多目的屋内施設、
スケボーパーク 等

市民アンケート調査の結果概要(1)

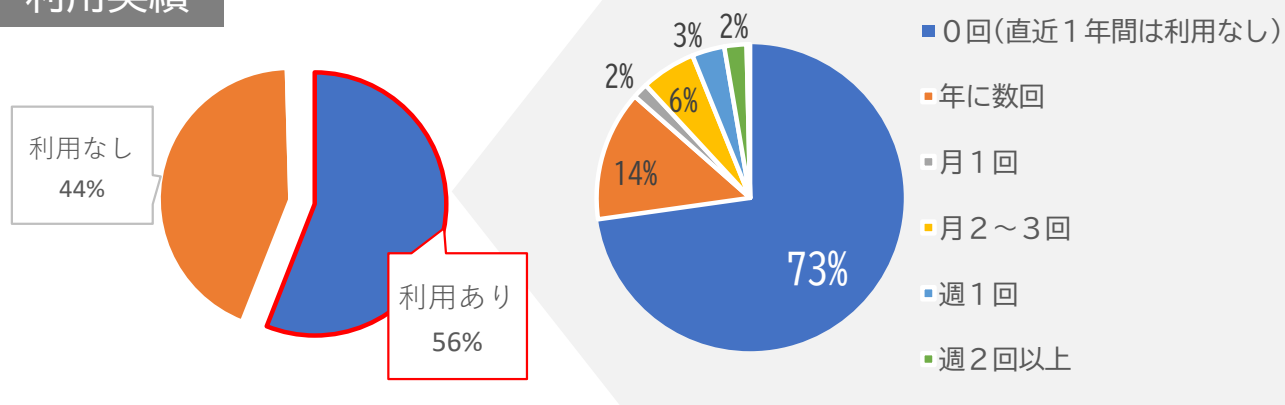
■回答者の属性



市民アンケート調査の結果概要(2)

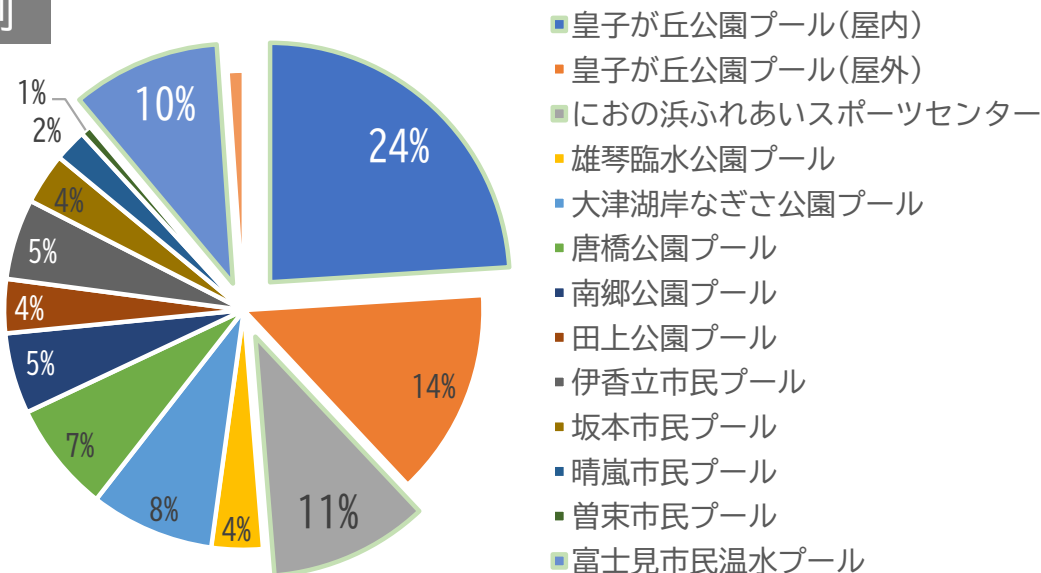
市営プールの利用状況

利用実績



市営プールを利用したことがあると回答した人は全体の56%だが、73%は直近1年間に於いて利用がなく、現在も年に数回以上利用しているのは、全回答者の約15%となっている。

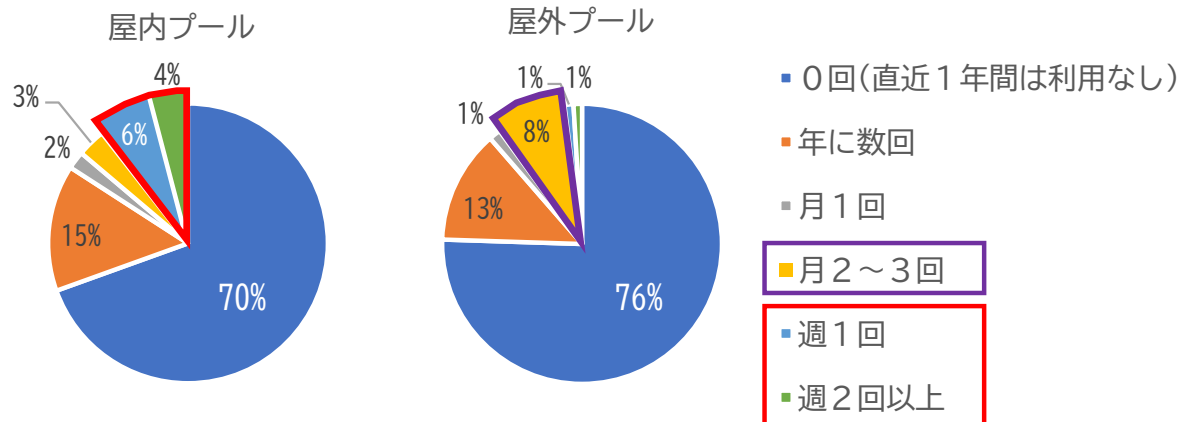
プール別



最も利用されているのは「皇子が丘公園プール(屋内)」で24%、次いで「皇子が丘公園プール(屋外)」14%、「におの浜ふれあいスポーツセンター」11%、「富士見市民温水プール」10%となっており、屋内プールが半数近くを占めている。

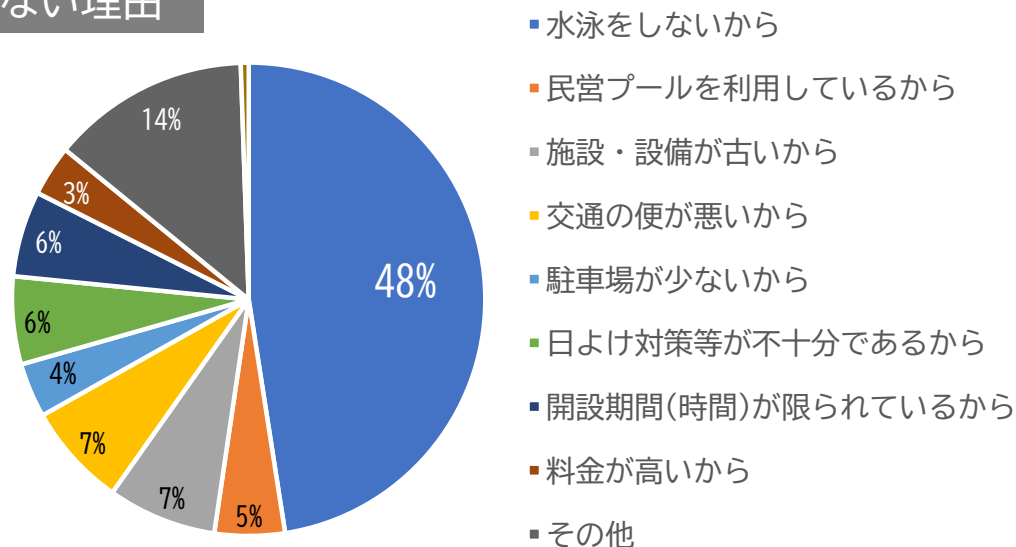
市民アンケート調査の結果概要(3)

屋内・屋外別の利用実績



市営プールを利用したことがある方の屋内プールの利用実績は、毎週利用されている方の割合が10%となっている一方、開設期間が限られている屋外プールでは月2～3回と回答された方が8%となっている。

利用しない理由



市営プールを利用しない理由は、「水泳をしないから」が最も多く、約半数を占めている。

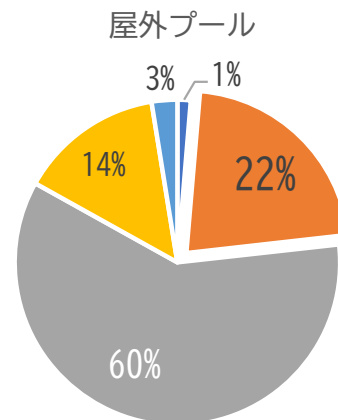
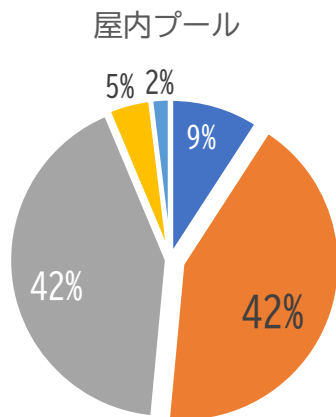
「その他」の主な内容

- 存在を知らなかったため
- 子ども、孫が大きくなったため
- 育児、仕事で時間がないため
- 機会がないため
- 海、川、琵琶湖で泳ぐため

市民アンケート調査の結果概要(4)

■市営プールの今後

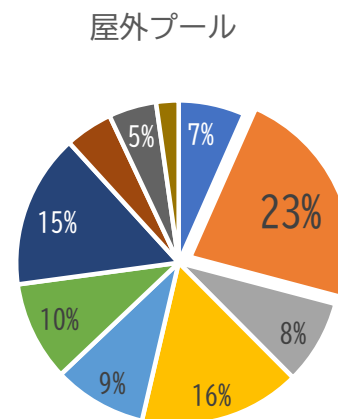
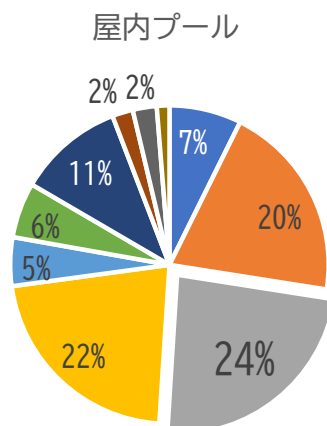
今後の望ましい施設数



- 数を増やして続けていく
- 今のまま続けていく
- 数を減らして続けていく
- 全部やめる
- 無回答

屋内プールでは「今のまま続けていく」、「数を減らして続けていく」と回答された方がともに42%であった一方、屋外プールでは「今のまま続けていく」が22%、「数を減らして続けていく」が60%となっている。

望ましい施設数の理由

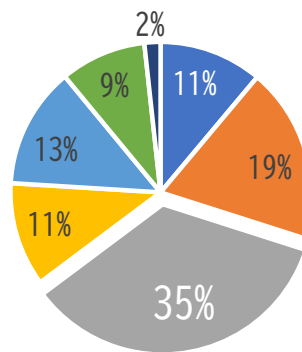


- 家の近くにあると便利だから
- 子どもの遊び場として必要だから
- 健康増進の場として必要だから
- 必要最低限の市営プールは必要だから
- 気軽にいつでも行けるから
- 利用頻度が少ないから
- 運営収支が良くないから
- 他の施設へ変えた方が良くから
- その他

屋内プールでは「健康増進の場として必要だから」が24%と最も多かった一方、屋外プールでは「子どもの遊び場として必要だから」が23%と最も多くなっている。

市民アンケート調査の結果概要(5)

跡地利用



- 他の運動施設
- 広場・グラウンド
- 子どもが遊べるスペース・施設の設置
- カフェ・レストラン・売店などの店舗
- やめる必要はない
- その他
- 無回答

将来的に市営プールをやめるとなった場合の跡地利用として最も多かったのが、「子どもが遊べるスペース・施設の設置」で35%、次いで「広場・グラウンド」19%となっている。

「その他」の主な内容

- 民間へ売却
- 防災施設や災害時の避難場所用の空き地
- 介護施設や高齢者のリハビリ施設
- 子ども向け年齢別多目的施設

自由意見のまとめ

維持・拡充

- 施設の改修による快適性・清潔感の向上
- 積極的なPRや複合施設による魅力向上

- 小さな子どもの遊び場として一定数は必要

屋内プール

- 健康づくりやコミュニケーションの場として必要

屋外プール

- 中核市の平均程度まで減らすべき
- 老朽化したプールから廃止していくべき

- プール付の民営ジムの利用者が多い

縮小・廃止

- 子どもの成長のために必要な他の施設にするべき
- 夏の酷暑で利用できない

市民アンケート調査の結果概要(6)

自由意見(一部抜粋)

- 現在の夏の暑さはとんでもなく屋外のプールは利用が無理なので全部やめるべきだと思います。反面室内プールは体力づくりやコミュニケーションづくりの場として生かせるのでこれから増やしてほしいと思います。
- 赤字は大変だとおもいますがこどもの遊び場として絶対に必要であると思います。数を減らしてでも屋内を中心とした施設を継続してほしいと思います。
- 加齢とともに健康寿命を獲得するためにも足腰に負担がかかりにくい水泳はとても重要でニーズも増えてくると思います。特に近所にジムやフィットネスクラブ（プールのある）もないので皇子が丘公園プールはとても助かります。若い時は子供を遊ばせるために利用するだけだったプールですが年をとった今現在は自分の健康のために利用させていただければと強く思っています。ぜひとも存続を強くお願い申し上げます。
- 赤字を多く出しているとのことで数を減らしながら運営をしていただきたい。孫ができたときにおもいきりプールで遊ばせてやりたいから。跡地は子供が遊べるスペースとして使ってほしい。
- 屋外プールは必要ではなく、予算上においても、無駄な出費である。子どもの成長のため、必要な施設等を検討すべきである。
- 屋外プールは季節によって稼働できない時期があるため、屋内プールを優先的に残した方が市民生活に資するかと思いました。
- 子供が小さい頃は夏休みを利用して使用しておりましたが子供達も大きくなったこともあり利用する機会がなくなりました。
- 自分の子供が小さい頃、安くて気軽に行ける市民プールがあって良かったなと思えるので少しでも存続してもらいたいです。
- 必要ではあると思うが利用頻度が少なく赤字なら問題である。思いきって違う施設にするか数を減らすべきであると考えている。
- 大人になってから利用しなくなりましたが屋内のプールはまた利用したいと思いました。管理費等、大変かと思いますが更衣室を含め施設が美しければとてもうれしく思います。
- 私たちが子育て中も孫育て中にも大変お世話になりました。使用回数、使用期間は本当に少ないのですがとても助けていただきました。勝手なお願いだと思いますが残して戴きたいと強く願います。
- 最近の酷暑により屋外のプールでの利用も減る一方だと感じております。そして多くの屋外プールも30年以上たっており改修しても多大な経費は無駄で時代の流れでやめた方がよいと思います。屋内のプールの料金を安くしては利用者も増えていくのではないかと思います。
- 他の中核都市の平均設置数程度までは早急に減らすべきである。
- 子供のための場所が全国的に少なくなってきているのでこういった場所を残してあげるべきだと思った。数は減らしても良いと思う。

検討の方向性と検討スケジュール

■検討の方向性

持続可能なプールの施設数を検討する

◆屋外プールを中心に持続可能な施設数へ見直すことを検討

検討の主なポイント

- ・施設の経過年数
- ・近年の酷暑などの気象条件
- ・他市との施設数の比較

など

官民連携手法によるプールの再整備を検討する

◆老朽化が進む屋内プールを中心に官民連携手法による再整備を検討

検討の主なポイント

- ・財政負担の平準化や軽減
- ・多機能化による利便性や魅力向上
- ・収支状況の改善

など

■検討スケジュール

